

3 ネットトラブル事例

下の表3-1は、平成26年度に本県公立学校の児童生徒が関係したネットトラブルについて、発生件数の割合が高かった内容を校種別に多いものから示したものです。

順位	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
1	誹謗中傷	誹謗中傷	不適切な情報発信	高額請求
2	不適切な情報発信	不適切な情報発信	誹謗中傷	脅迫
3	コミュニケーショントラブル	コミュニケーショントラブル	なりすまし	不適切な情報発信
4	脅迫	脅迫	コミュニケーショントラブル	誹謗中傷
5	ネットいじめ	誘い出しつきまとい	個人情報の発信	ネット依存

表3-1 平成26年度に本県公立学校の児童生徒が関係した校種別ネットトラブルの内容

次のページからは、平成26年度に本県公立学校の児童生徒が関係したネットトラブルのうち、発生割合が高かった10の内容に関する事例を示してあります。いずれも、教職員が知っておきたいネットトラブル事例ばかりです。

見開き2ページに一つの内容に関する事例を掲載してあります。左ページには具体的な事例をトラブルの内容がイメージしやすいようにイラストを付けて示し、右ページにはそれぞれの内容に関連した同様の事例や対応例、未然防止について示してあります。なお、未然防止については、左ページの事例に当てはまることだけではなく、その他の事例も想定した上で示してあります。

これらの事例を参考にして、情報モラル教育の指導力を身に付け、特別活動、総合的な学習の時間や、朝の会や帰りの会、ホームルーム活動等で話題にし、児童生徒に考える機会を与えましょう。また、オリエンテーションや入学式、保護者会等で時間を確保して、情報モラル教育に関する学校の方針やネットトラブルの現状について児童生徒や保護者に伝えることも大切です。